

標茶町「森と川の月間」実施結果

釧路川・別寒辺牛川・西別川の三大河川や釧路湿原国立公園・阿寒摩周国立公園など、豊かな自然を有する標茶町では、毎年5月を「森と川の月間」として、10年以上にわたり取り組みを行ってきました。今年は町内外から、約1,200人の方が参加し、植樹活動・清掃活動が行われました。7,132本の植樹と、約400kgのごみを回収しました。

西別川清掃

西別川流域 | 5月12日

摩周水環境保全実行委員会（館定宣委員長）主催の西別川清掃が虹別周辺の西別川流域で行われました。町民ら約10人が参加し、清掃活動に汗を流しました。可燃ごみ約30kg、不燃ごみ約90kgを回収しました。



第18回町内クリーン作戦

町道ルルラン通り | 5月13日

本町主催の第18回町内クリーン作戦が町道ルルラン通りの踏切から国道391号線までの約3.8キロの区間で行われました。町民ら約150人が参加し、清掃活動を行いました。可燃ごみ約160kg、不燃ごみ約120kgを回収しました。



第17回摩周・水・環境フォーラム

別海町西公民館 | 6月3日

摩周水系西別川流域連絡協議会（曾根興三会長）などが主催の第17回摩周・水・環境フォーラムが開催され、約50人が参加しました。釧路湿原の水質に着目した調査研究の講演や酪農生産システムによる水質悪化に関する講演が行われました。また、平成26年より実質している西別川上流のバイカモ保護網の設置・移植の報告も行われました。



第17回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹

虹別萩野地区 | 5月22日



本町主催の第17回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹が虹別萩野地区の保安林で開催され、ヤチダモの苗木300本を植樹しました。この取り組みは、釧路開発建設部で始めた保安林の枯れ木の再生を本町が引き継いで行っている事業で、この日は町民ら約50人が参加し、保安林の再生の願いを込め苗木を植えました。

第25回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭

中虹別地区 | 5月20日



虹別コロカムイの会（館定宣会長）主催の第25回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭が中虹別地区の町有林で開催され、町民や道内外の会員など約200人が参加しました。この取り組みは、シマフクロウが生息しやすい環境をつくるための活動で、この日は、ミズナラなどの苗木3,000本を植樹し、西別川へサケの稚魚約2,000匹の放流を行いました。

厚岸町民の森植樹祭

厚岸町糸魚沢地区 | 5月27日



厚岸町民の森造成実行委員会（河村信幸会長）主催の厚岸町民の森植樹祭が厚岸町糸魚沢地区で開催されました。別寒辺牛川・ホマカイ川流域環境保全協議会の活動の一環として、上流に位置する本町の町民も毎年参加しています。この日は、約600人が参加し、ミズナラやヤチダモなどの苗木2,572本を植樹しました。

第24回豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動

コッタロ地区 | 5月26日



豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動実行委員会（近藤龍洋会長）主催の植樹活動がコッタロ町有林で開催されました。町民や釧路市漁協など約150人がミズナラやヤチダモなどの苗木1,260本を植樹しました。植樹後は塘路公民館で交流会が行われ、釧路市漁協・釧路市東部漁協女性部の協力による「トキ鍋」などが振る舞われました。